

## 令和5年度 第2回駒ヶ根市地域公共交通協議会 会議録

【日 時】 令和6年2月7日（水）午前11時～

【場 所】 駒ヶ根市役所 保健センター 2階 大会議室

【出席委員】 19名（欠席：伊東俊弘委員・新倉孝礼委員・山岸康範委員）

### 1 開 会

### 2 委嘱状交付

委員1名へ委嘱（人事異動による残任期間の委嘱）

### 3 会長あいさつ

- 今年度は、有償での山麓周遊バス実証実験やこまタクの予約配車システムの本格実装などの取り組みを進めてきた。
- 新型コロナウイルスもようやく季節性インフルエンザと同等の扱いとなり、人々の外出や観光が急速に戻りつつある。一方で、交通業界は2024年問題など多くの課題を抱えており、市民の方々の公共交通への関心が高まっている。
- 住民の皆さんの移動の足も重要な課題であるが、リニア新幹線の開通を控えて、観光客の方々を迎える足の重要性も高まっている。委員の皆様にも助言を頂きながら、取り組みを進めていきたい。

### 4 協議事項

#### (1) 令和5年度山麓周遊バス実証実験事業 報告 資料1

（質問等なし）

#### (2) 令和6年度山麓周遊バス実証実験事業 方針案 資料2

下平委員より質問

- ・ 1乗車500円とはどういうことか。  
⇒（事務局より回答）
- ・ 距離制料金ではなく、1回乗車したら500円を支払うシステム。どこで降車しても料金は変わらないが、再度乗車する場合は500円お支払い頂く形になる。  
⇒（下平委員より）
- ・ 一般の方にも分かりやすい表記にしていきたい。

## 肥野委員より意見

・ホテルでもっと宣伝してもらえば、ロープウェイ目当ての観光客も利用が増えるのではないかと。

⇒（事務局より回答）

・駒ヶ根市にお越しいただいた方には、様々な場面で、目に触れられるような形でPRしていきたい。また、SNSの活用や各事業者様のHPにも掲載して頂けるようお願いしていきたい。ほかにも手段があったら、委員の皆様からのご意見を頂きたい。

## 長野県企画振興部交通政策局より質問

・Google マップに掲載していたのか。また、次年度はどうするのか。

⇒（事務局より回答）

・はい。Google マップで検索すれば、周遊バスが案内されるように設定していた。来年度も引き続き、設定したいと考えている。

## 5 報告事項

### (1) 中沢オーライ、ちょこっとお助け東伊那の運行について

#### 長野県企画振興部交通政策局より質問

・ちょこっとお助け東伊那について、自家用有償旅客運送でおこなっているという認識でよろしいか。

⇒（地域支え合いネット松原氏回答）

・自家用有償旅客運送とは別。国土交通省が示す許可・登録が不要モデルのガイドラインにしたがって、運行している。

⇒（長野県企画振興部交通政策局より）

・地域支え合いネットで登録している福祉有償運送とは別のものなのか。

⇒（地域支え合いネット松原氏回答）

・はい。中沢オーライ、ちょこっとお助け東伊那も地域ごとのボランティア送迎の仕組みになる。

⇒（長野県企画振興部交通政策局より）

・中沢オーライの料金体系はどのようになっているか。

⇒（地域支え合いネット松原氏回答）

・1キロ当たりいくらという形で、ガソリン代相当を払っていただく。

## 6 その他

### (副会長 春日委員より)

・各地域においてバスの休日運行や大幅な減便が報道されている。有識者の方、事業者の皆さんもいらっしゃるのでご意見を頂戴したい。

⇒（長野県企画振興部交通政策局より）

- ・県では、今年度補正予算案で、求職者向けのセミナーや就職相談窓口の設置、説明会を引き続き行っていく。また、県外から移住してきてドライバー採用された方に対して最大50万円支給するというものを、予算に計上している。ほかにも2種免許取得の支援をバス協会と連携をして来年度も行っていく予定である。
- ・みすずハイウェイバスについて、現状の4便運行が厳しい状況となっている。県としては、長野県を南北に結び付ける重要な移動軸であり、リニア中央新幹線の2次交通の役割を担うものであると認識している。したがって、県が主体的に関与していく必要があり、来年度の運行の維持費を支援していくこととした。県でも利用促進を行っていく予定ではあるが、駒ヶ根市においてもバス停留所の利便性の向上や利用促進を行ってほしい。また、委員の皆様においても長野市、松本市にお越しいただく際は、ぜひみすずハイウェイバスを活用して頂きたい。
- ・県の公共交通計画について、今年度中に策定する予定であったが、みすずハイウェイバスの支援が必要になったため、再度見直すこととした。また状況等を共有させていただきたい。

⇒（伊那バス 福澤委員より）

- ・バス事業の現状として、4月1日からの施行に合わせて、乗務員のやりくりやダイヤの改定、バスの減便など厳しい状況となっている。当社としても高速バスのダイヤ改正を検討しているので、正式に決まった段階で、皆様にも発表したい。

（事務局より）

- ・次回の公共交通協議会を3月中に予定している。日程が確定したら、改めて通知をさせていただきます。

## 7 閉 会